令和４年７月６日
みどり３３推進担当部
公　園　緑　地　課

玉川野毛町公園拡張事業基本設計策定に向けた検討状況について

１　主旨

区立玉川野毛町公園の拡張は、令和３年５月に玉川野毛町公園基本計画を策定した後、区民協働の公園づくり「玉川野毛町パークらぼ」を開催しながら公園基本設計の検討を進めている。現在、住民参加でまとめた公園基本設計検討案【別紙】への意見聴取や民間事業者へのサウンディング調査を実施しており、これらの検討状況について報告する。

２　これまでの経緯

平成２８年１２月：基本構想の策定（公園整備の３つの基本的な考え方）
平成３０年　５月：　基本的な考え方の策定（公園拡張の視点や今後の進め方）
平成３０年９～１１月：サウンディング調査（第１回）　参加事業者等１４団体
平成３１年　２月：基本計画骨子（拡張のテーマやゾーニングなど）の策定
令和　３年　５月：基本計画の策定
９月～：玉川野毛町パークらぼ開催（計１３回：令和４年６月現在）

３　公園基本設計（検討案）

公園予定地を開放し、公園での活動や行動をもとに設計・デザインを行っていく『玉川野毛町パークらぼ』で検討案を作成した。【別紙】公園づくりニュース第１０号参照

4　アンケート調査等の実施

パークらぼ（登録者数１７０名（令和４年６月現在））で検討してきた案について広く近隣住民等の意見を聞くため、次のとおりアンケート調査を実施した。

（１）周知方法：各戸配布（近隣１４０００世帯）、ホームページ、区のお知らせ　など

（２）回収方法：郵送、現地投函、Ｗｅｂ回答など

（３）調査時期：令和４年５月～６月

（４）質問項目

１）公園での活動や利用などは、公園を育てていくのに相応しいか。

２）公園のデザインは玉川野毛町公園に相応しいか。

３）既開園区域の気になる点

（５）回　　答：３０１件

（６）結果概要

・質問項目１）、２）共に約８割が検討案は公園の基本設計に「相応しい」、「概ね相応しい」と高い評価

・質問項目３）トイレ、屋外プール、こども広場、駐車場　など

（７）そ の 他

＜拡張区域＞もっと自然的であるべき、樹林地の防犯、開園後の公園利用・騒音、道路の安全性などを心配する意見　など

5　サウンディング調査の実施

（１）調査の概要

第１回：平成３０年度（基本計画検討前段階）

（目的）飲食物販施設の導入可能性、店舗等の種別、施設配置など

（結果）環状８号線沿いの施設配置、小規模な店舗の導入（１店舗から複数店舗）参加形態は店舗建設又はテナント出店　など

第２回：今回（基本設計策定前段階）

（目的）住民参加で検討した基本計画、基本設計検討案を踏まえた上での出店可能性区民活動との連携、公共的な付加価値（防災、地産地消など）に関する確認参画形態、施設規模など基本設計・公募要領作成に向けた確認　など

（結果）現在、事業者との対話を順次行っており、９月頃の結果公表を予定している。

（２）調査対象

・便益・サービスの拠点となる施設（飲食や物販などの施設）【既開園区域】

・公園利用や活動の拠点となる施設（公園利用や交流などの拠点施設）【拡張区域】

（３）周知方法　区ホームページ、公園の官民連携のＰＲサイトなど

（4）応募事業者　１０社

＜事業者属性および事業実績＞

事業者属性	事業実績	対象
自社等店舗（３社）	カフェや物販等の店舗建設、テナント　など	既開園区域
店舗・テナント経営（４社）	カフェ、レストラン、売店、食物販（テイクアウト）の店舗建設、テナントの出店　など	
管理運営を絡めた出店（３社）	環境学習、ボランティアのコーディネート イベント企画、直売所、カフェ　など	拡張区域

6　今後のスケジュール（予定）

＜基本設計策定まで＞

令和４年　９月：都市整備常任委員会（サウンディング調査結果の報告）

～１１月：玉川野毛町パークらぼでの検討、専門家への意見聴取など

１２月：都市整備常任委員会（公園基本設計策定の報告）

＜工事の予定＞

令和５年度　：拡張区域第一期工事（みどりのエントランス・草地の広場　など）

便益・サービスの拠点となる施設（民間施設）などの公募

令和６年度　：拡張区域第二期工事（外周擁壁や明るいみどり・濃いみどり、公園利用や活動の拠点となる施設、防災倉庫、既開園区域（テニスコートの移転）など）

民間施設の設計・調整

令和７年度　：拡張区域第三期工事（駐車場周辺）

民間便益施設工事（建築物など）

開園（拡張事業全区域）

※既開園区域は順次改修工事

発行:令和4年5月

公園づくりニュース

第10号

公園づくりニュースでは、
玉川野毛町公園拡張事業の取り組みについてお知らせします。

公園拡張の基本設計（検討案）に関するアンケートにご協力ください

令和3年度の取り組みを報告します。

令和3年5月に基本計画を策定し、9月より協働の公園づくり「玉川野毛町パークらぼ」をスタートしました。
ランドスケープデザイナーや専門家とともに、広く区民参加で基本設計について検討してきました。

基本計画の概要 令和3年5月策定

公園づくりの目標

世田谷の先人たちを育んだ豊かなみどり、
歴史文化を区民の手で大切に育み、
100年後も地域に愛される公園を目ざします。

公園づくりの方針

ともにつくる、ともにあゆむ公園づくり

つくりこみすぎず、人との関わりにより少しずつ育む
「余白をいかした公園づくり」を目ざします。

- みどりとみずのネットワークづくり
- 歴史・文化を感じられる空間づくり
- 安全・安心の公園づくり

協働の公園づくり「玉川野毛町パークらぼ」の取り組み

「玉川野毛町パークらぼ」（以下、パークらぼ）では、活動を企画しやってみる「アクティブDAY」と公園設計を考える「デザインDAY」、そして拡張予定地を定期的に開放する「オープンパーク」を行い、広く区民と取り組みを共有・検証しながら公園設計や活動の具体化を進めてきました。

パークらぼの取り組み ▶▶ P2-3

オープンパークの様子

基本設計（検討案）をとりまとめました

パークらぼでは、令和3年9月から令和4年2月までにアクティブDAYとデザインDAYを合わせて18日開催し、延べ500名もの参加を経て令和4年2月に基本設計（検討案）をとりまとめました。

基本設計（検討案） ▶▶ P4-7

基本設計（検討案）の模型

基本設計の策定に向けてご意見をください

アンケート調査を実施します。基本設計（検討案）についてご意見をください。

現地で基本設計（検討案）のパネル展示による説明を行います。詳しくはP8を参照ください。

アンケート ▶▶ 別紙

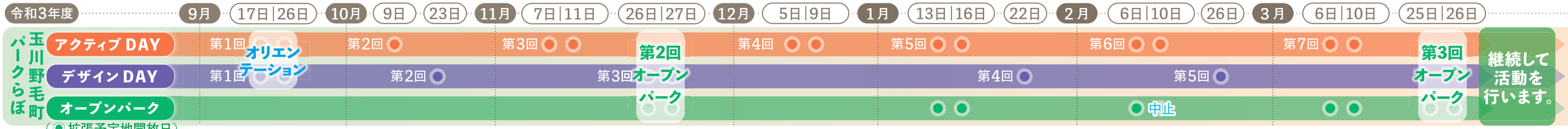
基本設計を策定します

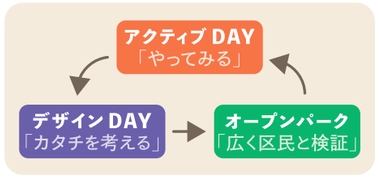
いただいたアンケートや公園開放日などでのご意見を反映し、令和4年秋ごろに基本設計をとりまとめる予定です。今後、工事を行うための詳細な設計や準備工事などを進めていきます。

位置図

玉川野毛町パークらぼの取り組み

区民発意の取り組みを現地で行い、公園の将来 像や設計、活動、運営のしくみを考える新しいスタイルの公園づくりにチャレンジしています。





公園を「私たちの暮らしの舞台」として育むため、区民発意の様々な取り組みにチャレンジしています。

公園の将来像や公園でやってみたいことについて意見を出し合う

↓

現地で実際にやってみる空間を体験してみる

↓

見えてきたことを公園の設計に反映する

アクティブ DAY / デザイン DAY オリエンテーション

地域の魅力、公園の将来像、公園でやってみたいことについて、意見や思いをお聞きしました。

95名に参加いただきました

アクティブ DAY

「公園でやってみたい」を持ち寄り、テーマと活動を起こしました。

オープンパーク

区民発意の企画を実際にやってみました！1,100人もの方々に来場いただきました。

アクティブ DAY

参加者同士の交流が生まれ、様々な活動が発展してきました。

オープンパーク

公園の将来イメージを持ちプログラムを実践、検証しました。

デザイン DAY

活動とデザインのマッチング

デザインのポイントを空間体験共有

対話型ワークショップ

公園デザインの共有

パークらぼとして基本設計（検討案）をとりまとめました。

基本設計のデザインコンセプト

「グリーンウェーブ」
多様な区民活動の波が公園からまちに広がる

- 古墳や微地形、樹木がかたちづくる立体的なみどりの波
- 多摩川や等々力渓谷、国分寺崖線がつくる地形の波
- 多様な活動を支える大地の波

3つの環境要素で活動を支える空間をつくる

区民の想いである「つくりこみすぎない公園づくり」を実現するため、ごく自然で利用にもなじむ、つくりこみを感じさせない質の高い公園空間を目ざします。

【樹木の密度】 樹木密度の濃淡が風景に変化を生み、様々な大きさの空間をつくる

【大地の状態】 舗装や草地など地面の変化により多様な過ごし方を支える

【地形の勾配】 地形に変化をつけることで自然になじむ使いこなしの風景をつくる

活動から公園デザインを考える

活動の「うごき」から、公園利用や活動を支える「しくみ」や「かたち」を考えます。

活動の実践例

設計・使い方の展開例

区民協働で育んでゆくデザイン

区民発意の活動の場づくり

■大・小さまざまな広場や樹林地内で、区民発意の活動や遊びが実施できる仕組みやルールをつくります。

区民とともに育むみどり

■区民参加で少しずつみどりを育みます。
■区民も維持管理活動に参加する仕組みを検討していきます。

活動の様子

公園利用や活動の拠点となる施設・・・②

■軽飲食や休憩など、様々な公園利用や活動に対応できる施設とします。
■拠点となる施設の屋内、屋根下、屋外の草地の広場と連続する空間とします。
■「環境と調和する」「外部と連続する半屋外スペースをいかす」「微地形と呼応し、風景に馴染む」建築物とします。

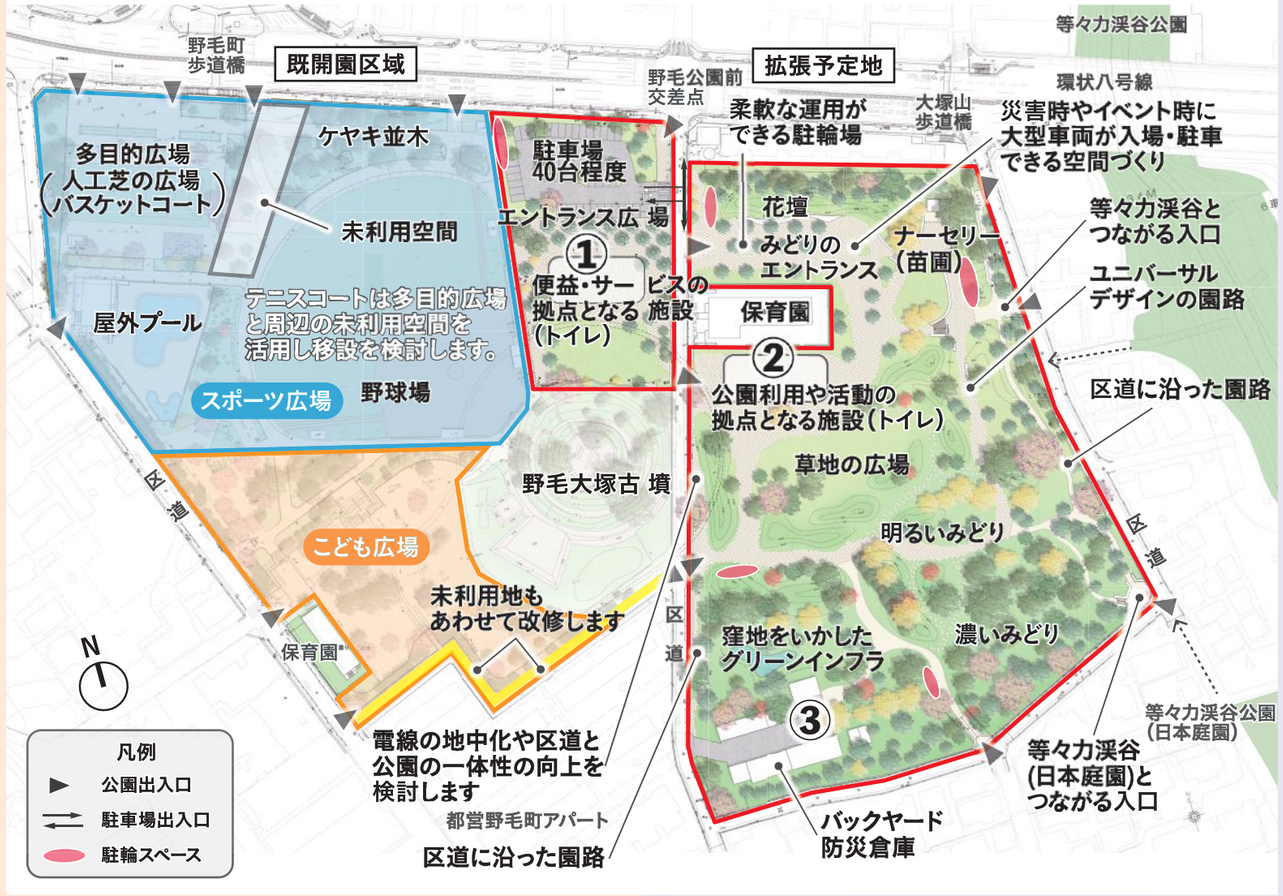
拠点となる施設と草地の広場のイメージ

子どもが創造する自然の遊び場

■施設系の遊具は設置せず、原っぱや樹林などの自然環境をいかし、自由な発想で遊びを創造できる空間を整備します。

オープンパークでの遊びの風景

「パークらぼ」の活動を通じて、区民参加で基本設計（検討案）[赤色の枠の範囲]についてとりまとめました。



楽しみ広がる公園利用の仕掛け

■お気に入りの場所でくつろぐことができるよう常設のベンチのほか、テーブルチェアの貸出など、楽しみ広がる公園利用の仕組みを検討します。

オープンパークで実践したテーブルチェアの貸出風景

公園の夜を演出する照明計画

■歩行者の安全と生きものに配慮した計画とするとともに、光の明暗のメリハリを付けることで空間の美しさを引き立てます。
■落ち着きを感じる暖色系の照明光を採用します。

広い範囲を照らす高ポール照明

足元を照らす低ポール照明

日常的な楽しみや質を高めるデザイン

エントランス広場の再整備

■拡張整備とあわせて公園の顔となるエントランスを再整備します。
■「駐車場」は19台から40台程度に増やします。出入口の位置を交差点から現状より南へ離し、安全性の向上を図ります。

便益・サービスの拠点となる施設・・・①

■公園の管理機能に加え、飲食や物販施設の導入を検討します。

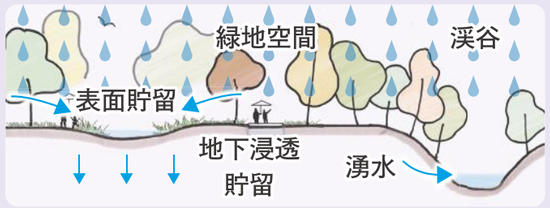
安全・安心の公園づくり

■園路周辺の見通しを確保し、死角の少ない計画とします。
■ゆとりある幅員の確保と段差をなくすことで、高齢者や障がい者、車いす利用者など誰にとっても使いやすい園路（1.8m以上）とします。

園路周辺のイメージ

グリーンインフラの導入

■みどりや地形をいかし、雨水の流出を抑制するとともに、水の循環や生きものの生息環境、遊び・学びの場を整備します。



グリーンインフラのイメージ

バックヤード・防災倉庫・・・③

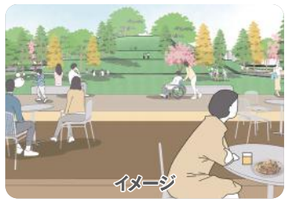
■既開園区域の北東、公園管理棟の付近に位置するバックヤードや広域用防災倉庫は、拡張予定地の南西角に移設します。

既開園区域のリニューアル

既開園区域も順次全面改修を予定しています。　区民の 皆さまと検討の機会を設けながら改修を進めます。

古墳とのつながりを再構築

■バックヤードやテニスコートを移設し、古墳とのつながりを大切にした広場として再整備します。ランドマークとなる古墳の保全を図ります。


イメージ

スポーツ広場

未利用空間を
有効活用し
改修を検討

■多目的広場、野球場、屋 外プール、ケヤキ並木にテニスコートを加え、スポーツ 広場全体で改修を検討します。
■現在ある野球場、テニス コート、屋外プール、多目的広場は現状と同等の機能と 広さを確保します。
■テニスコートは、多目的 広場とその周辺の未利用空間を有効活用し、移設を検討 します。

多目的広場周辺の未利用空間

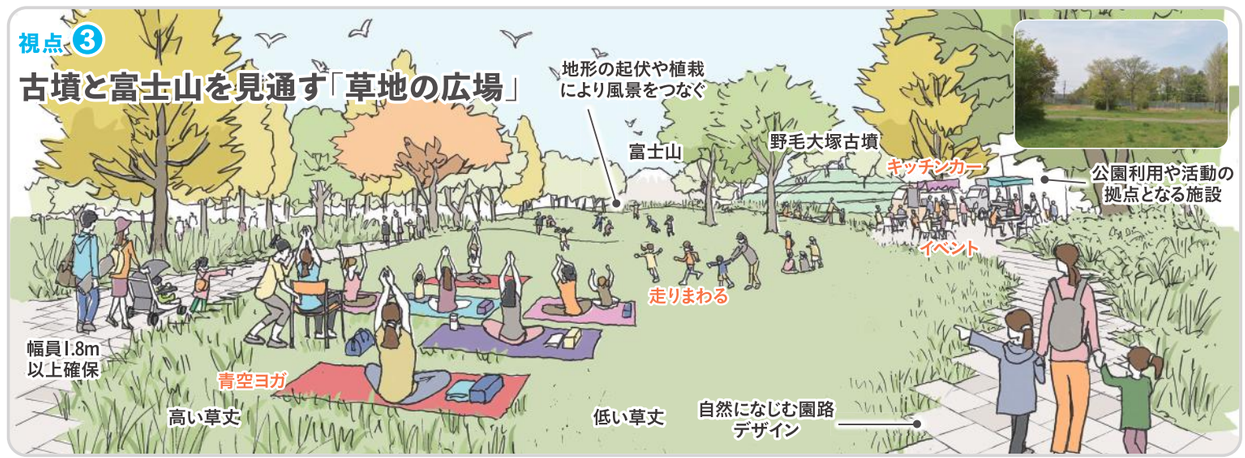
こども広場

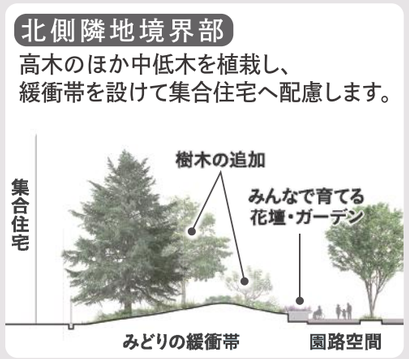
■遊び場となる広場や園路動線など現状の課題を把握し、利用者の声を聴きながら改修を検討します。

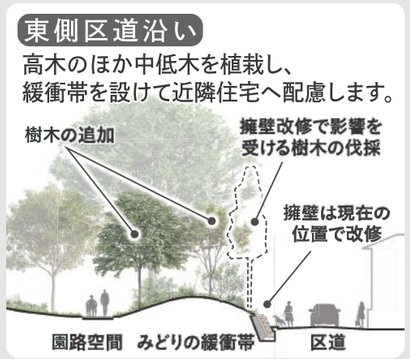
現況のこども広場

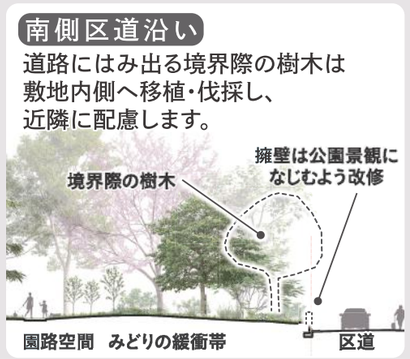
基本設計（検討案）-将来の整備イメージ

野毛大塚古墳や富士山との関係を大事に、エントラン スから草地の広場、明るいみどり、濃いみどりへと変化する、つながりのある公園デザインとします。









断面イメージ

公園のシンボルである古墳をいかしたエントランス広場の再整備

■マルシェやキッチンカーなどの利用ができる広場空間とします。

便益・サービスの拠点
飲食・物販、テニスコート・野球場の管理機能などを導入します。

機能イメージ：店舗スペース／屋根下スペース／トイレ／パブリックスペース／管理事務所

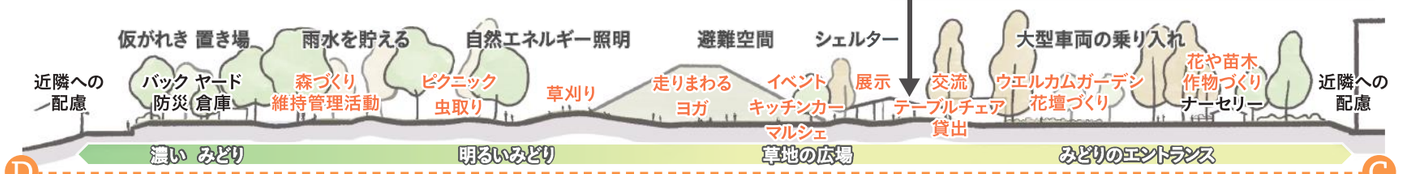
既存の自然環 境をいかした拡張予定地の整備

■維持管理活動 を通して花壇や森づくり、草丈の高低など多様な利用空間と公園 景観を創出します。

■既存の樹木を いかし、武蔵野台地の主要な構成樹種や落葉広葉樹を主体とした みどりを育成していきます。

公園利用や活動の拠点
公園の利用や活動を支える多目的スペースを設けます。

機能イメージ：体験・学習スペース／管理運営スペース／ロビースペース／屋根下スペース／多目的スペース／トイレ



玉川野毛町公園拡張事業の流れ（予定）

基本計画を踏まえ、区民や事業者と協働して公園の設計を進めていきます。
なお、拡張予定地の整備とあわせて、既開園区域の改修も順次進めていく予定です。

年　度	事業の段階		住民参加の取り組み
令和3年度	基本計画の策定		基本計画の策定（令和3年5月）
	設 計	⟷	パークらぼ 設計や活動の検討 × オープンパーク 公園予定地の開放 パークらぼの活動を引き続き進めていきます。
令和4年度	設 計 及び 準備工事	意見の反映 ⟷	公園の基本設計 今ここ!! 5-6月・・・基本設計（検討案）について現地説明とアンケートを実施 秋ごろ（予定）・・・基本設計の策定
			拠点となる施設（建築物）や公園の管理、運営について検討していきます。
令和5年度以降	工事・一部開園		公園の開園にあたり、区民参加による公園活動や管理運営の取り組みをスタートします。
令和6年度以降	工事・順次開園		

今後の予定

基本設計（検討案）の現地説明の実施

区民参加でとりまとめた基本設計（検討案）のパネル展示による説明を行い、意見交換を行います。

日時　5月29日（日）、30日（月）、6月5日（日）
いずれも午前10時から午後4時
（雨天中止、入退場自由）

場所　玉川野毛町公園テニスコート前
及び拡張予定地（野毛一丁目18～23、25）

便益・サービスの拠点施設について

これまでの区民意見を踏まえ、玉川野毛町公園にふさわしい飲食・物販施設の導入を検討します。施設の誘致については、民間事業者の意見も聞きながら進めていきます。

公園の管理運営について

「玉川野毛町パークらぼ」の取り組みが活発化しています。区民や事業者、区が連携して公園の管理運営を行うことを想定し、管理運営の仕組みについて検討を進めていきます。

問合わせ先
世田谷区みどり33推進担当部 公園緑地課 建設担当（野々村、岡田、津田）
〒158-0094 世田谷区玉川 1-20-1 二子玉川分庁舎
電話：03-6432-7910／FAX：03-6432-7989

ホームページ　インスタグラム

www.nogemachi-parklab.com

「玉川野毛町パークらぼ」の活動については、ホームページ、またはインスタグラムをご覧ください。

世田谷区 SETAGAYA CITY　玉川野毛町公園拡張　検索

ホーム ＞目次から探す ＞区政情報 ＞施設 ＞公園・農園・緑道 ＞公園・緑地 ＞公園に関するお知らせ ＞玉川野毛町公園が新たに広がります。